

# 栗駒山

No.19

2024. 8. 4

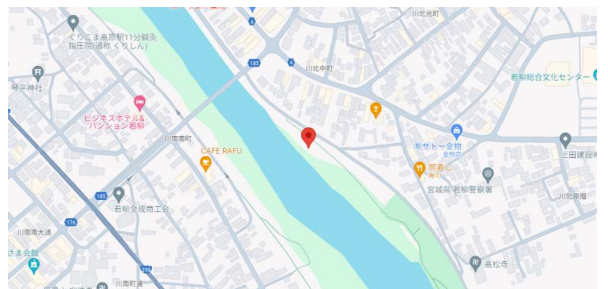


「桜咲く迫川河畔から栗駒山を望む」(若柳写真友会撮影)

若柳から望む残雪の栗駒山と満開の桜。残雪が馬の形に見えることから「駒姿」とも呼ばれ、栗駒山の名前の由来にもなっています。栗駒山の紅葉は「神の絨毯」と呼ばれ、毎年多くの観光客が訪れます。二百名山、花の百名山の一つに数えられ、『日本百名山』を著した深田久弥は、その後書きの中で、「東北では秋田駒ヶ岳と栗駒山を百名山にいれるべきであったかもしれない」と述懐しています。(写真提供：佐藤 一 副会長)

## 目次

同窓会会長と校長の挨拶	2
各支部から役員近況と挨拶	3~7
ご異動された先生から	7
対古高定期戦結果と応援団長挨拶	8
令和6年度総会当番幹事のあの頃	9
鶴澤飛羽選手オリンピック出場おめでとう!	10・11
令和5年度卒業生同窓会学年幹事の紹介と生徒会長挨拶	12



## 母校の発展と地域の未来



会長  
渡邊 一正  
(高二十八回卒・築館)

同窓生の皆さま、その後お変わりございませんか。それぞれの環境の中で活躍のことと存じます。さて、我が母校も来年統合二十周年迎えることとなりました。歴史有る栗原の伝統校として、先生方はじめ子ども達も文武両道を目指し、日々頑張っている姿を目の当たりにするたび、今後より以上にそれぞれの分野での活躍を期待して止みません。

ところで、私が常に思っていることは、優秀な子ども達が栗原地域以外の高校に入学している現状をただ憂いているだけで良いのか？ということだと思います。各中学校の優秀な子ども達が、せめて生まれ育ったこの地域の高校を卒業することがまずは第一ではないかと。そのためには、県内でも有数の素晴らしい学校になる様に、なお一層我々同窓会が盛り上げ、この地域から世界、日本、そして地元で貢献

していく栗原の人間性の豊かさを全国に轟かせて欲しいと心から願うものであります。

栗原に素晴らしい高校が有ることとは、他の地域の方々にも優秀な人材が豊富であるということ、そして、その子ども達を育て上げた豊かな自然の恵みがあるということ、すなわち、様々な面で栗原の良さを再発見されることに繋がります。このようなことを思うとき「母校の発展が地域の未来を左右するのだ」と私は強く感ずるのであります。

同窓生の皆さま、宮城県築館高等学校を日本一の高校にしようではありませんか！これからも母校の発展のため同窓生一同が自信と誇りを持って、多大なる応援を宜しくお願い致します。

結びになりますが、皆さまのご健勝を心から祈念申し上げます。



## 地域を支える築館生に



学校長  
野中 淳

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にさまざまな形でご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。今年度も何卒、母校で学び伸びゆく子供たちのためにご支援をよろしくお願いいたします。

以来の最高値であり、公務員合格者も久しぶりに10名を超えるなど成果を残しました。お互い励まし合い粘り強く最後まで諦めず頑張り抜いた結果だと思えますが、「総合的な探究の時間」の学習で行った「日本一住みやすいまち くりはらプロジェクト」でお世話いただいた地域の方々をはじめ同窓の先輩方からの激励ご指導の賜と思えます。あらためて感謝申し上げます。

さて、今年3月1日、157名の卒業生を送り出しました。コロナ禍により中学3年から高校2年までの3年間は制限がある中で、の学校生活を余儀なくされました。青春まつただ中、希望を胸に築館に入学し、エネルギーに活動するはずだったのにとやるせなさを感じた時もあったと思います。しかし、最後の1年は部活動やボランティア、学校行事にと今までの思いを晴らすかのような活躍をしてくれました。また、ほとんどのものが3年後のなりたい自分を実現することができました。国公立大学18名の合格は平成17年統合

少子高齢化が進みつつある栗原市ではありますが、築館生の多くはこのふるさとが大好きです。この栗原を活性化し、活気ある元気な街にしたいと熱い思いを持っています。令和の新たな時代、主体性と柔軟な発想が求められます。今年度も2・3年生が地域の課題に向き合い、調査研究を進め、その解決に向け新たな提案を考えていきます。「迷惑をおかけすることもありますがご教授お願い申し上げます。

部活動の面でも力をつけてきています。4月25日に行われた第65回対古川高校定期戦は、6勝9敗で総合成績では敗れてしまいました。が、どの部も力は拮抗しており、3

年ぶりの勝利まであと一歩でした。その後の栗原・登米の支部総体では弓道男女、女子バレー、ソフトテニス女子個人が優勝、サッカー、男子卓球が準優勝、県総体では、ほとんどの部が1回戦を突破、男子バレーと剣道はベスト8を賭け共に仙台育英に敗れはしたものの善戦しました。野球部も地区予選で敗れたものの利府、古川学園と互角に渡り合っています。「仙北の雄」である築高らしさを発揮しています。



(令和6年度紫陽定期戦壮行式の様子)

ボランティアも再開し、地域からの次々とご依頼をいただき、延べ400名を超える実績となっています。今年度より「築高ボランティア部」を積極的に解消し、より自主的なイメージをもって活動するため「人のためプロジエクト」と名称を変更しました。今まで以上に主体的にものごとくに引き合い優しさを持って地域貢献をしていきます。可能な限り対応していきます。地域のため築高生は頑張ります。遠慮なくお声がけください。

今後とも引き続き温かいまなざしで築高生を見守っていただくと共にご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりますが、同窓生の皆様のご健康とご多幸と築高同窓会のみますの発展をお祈り申し上げます。



(令和6年度紫陽定期戦開会式より)

## 新支部長より

### 築館高等学校同窓会東京支部



支部長

三好 加津子

(高二十四回卒・築館)

今年の7月の支部総会で駒井支部長よりバトンを引き継ぎました三好(氏名)加津子と申します。男女共学となつて20年の節目に旧築女から

初めての支部長ということでも、緊張していますが、事務局メンバーとして10年経験してきたことや、事務局のチームワークのよさに依拠してチャレンジしてみようと決意しました。皆さんよろしくお願ひ致します。

高校時代からこれまでの歩みを紹介します。私の実家は、築館自動車学校のすぐ側で、旧築女まで歩いて15分です。遠距離通学の人たちはいつも大変だなあと思っていました。中高と

ソフトボールに夢中で高2の新人戦では、あと一歩で準決勝でした。ベスト8止まりの悔しい思い出ですが、今は誇れる思い出です。1年先輩との絆

も強く、今も時々手紙や電話のやり取りが嬉しいです。

看護師の道に進み、子育てしながら65歳定年まで働きました。30歳から師長、総師長と長く管理職を経験し苦労も多かったですが、やりがいのある看護師人生だったと思っています。現在は、NPO法人の高齢者サロンや子ども食堂のお手伝いをしています。

また区民農園を借りての野菜作り、趣味の写真撮影に出かけたりと忙しく充実した日々を過ごしています。

これからは、新人支部長として、同窓会の皆さんに安心して交流いただけるように、引き続き同窓会の運営維持に力を注ぎ、会報「東京栗峰」42号の発刊に向けて事務局メンバーの協力協同のチームワークで頑張りたいと思います。新たにインスタグラムを立ち上げ、若い同窓生の参加に繋げたいと取り組み始めています。

今後本部の皆さんとの交流を大切に運営をしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。



# 身近な作詞家、白鳥省吾先生

## 築館高等学校同窓会仙台北部



支部長

笠原 哲

(高十八回卒・築館)

私が学んだ故郷の母校である、小・中・高の校歌を作詞していただいた。

入学したての私たちは、意味も分からず精一杯の声で懸命に歌い、励まされ、故郷愛を育んだ。その時々、作詞された「白鳥省吾」のお名前を記憶だけは、あったのですが、それ以上の関心を持つには至りませんでした。

この四月、懇意にしている会社社長さんから、古田義弘氏が監修した小冊子、「仙台藩に生きる『郷土の偉人伝』」(最終版)を頂戴し、読む機会を得ました。

登場するのは仙台藩の偉人たち七名。

この冊子は、古田氏(岩手県千厩生まれ、一関一高卒、仙台市在住八十八歳)が、郷土史研究者として長い年月

をかけ、仙台藩内の著名で業績卓越の方々を研究、紹介している冊子です。

登場する偉人は、高橋是清、林子平、石ノ森章太郎、支倉常長など多種再々。

栗原では、自由民権運動家で五日市憲法起草者の千葉卓二郎、正藍染の保持者で人間国宝の千葉あやの、大蔵官僚で仙台育英会創設に尽力した菅原道敬。そして、このシリーズの最後の最後に、民衆詩人「白鳥省吾」の四名が取り上げられ、紹介されています。

このことが刺激となり、よく理解していなかった自分を反省した。心を入れ替え、「白鳥省吾先生」について、学ぶため、まずは、栗原市立図書館に隣接する白鳥省吾記念館を訪ね、その足で、図書館でちょっとだけ調査。

「郷土の偉人伝」で紹介された内容も含め、よく理解されておられる方もいらっしゃるかと思いますが、紹介させていただきます。

白鳥省吾先生は、明治三年、栗原市築館、町屋敷で教師の次男として生まれ、一二歳で第二回生として旧築館中学に入学(当時は五年制)。四年生の頃、島崎藤村詩集と出会い感動し、

詩と短歌の投稿を始め、文学の世界にのめりこんでいったようです。

明治四十二年早稲田大学に入学、坪内逍遙や島村抱月など著名な教授の指導を受けておられます。

この頃、アメリカの国民的詩人と言われるウォルト・ホイットマンに傾倒、「ホイットマン詩集」の和訳を発表し、これ以降「楽園の途上」など次々と民衆詩人として本領を発揮、多くの作品を世にだしています。

折しも大正アモクラシー花盛りで、自由な社会の雰囲気だったのも影響したのではないかと思います。

さて、私にとって何と言っても、校歌の作詞です。

最初の校歌は、大正九年(一九二〇)、旧若柳町立大目小学校。最後の作詞は、昭和四八年二月(一九七三年)、千葉県の大綱中学校。

この間、小学校八三校、中学校で七三校、高校・その他の学校含め三八校計一九四校の作詞となります。

所在地では、故郷栗原地域の小・中・高をはじめ、遠くは、兵庫県養父市立伊佐小学校まで、各地にわたります。詩を通しての交流の広さを感じます。

昭和三十一年、河北新報の取材に応じ

「校歌を尋ねて」というタイトルで連載されています。

その最終号で、先生は、「校歌に、もし郷土愛、学問愛、師弟愛、国家愛、人類愛ともいうべき教育の理念が十分に表れ高唱されたなら、校歌こそは最も教育に必要なものであろう」と述べておられています。

先生が作詞された校歌を、声を限りに歌い、どれだけの児童生徒学生が自らを励まし、励まされ、将来への希望や決意を新たにしたことでしょうか。

あらためて「白鳥省吾先生」に尊敬の念と感謝の思いで一杯です。

そして、人生の最終章に、自らの詩づくりの大師匠ともいえる「ホイットマン」氏の詩蹟を、御夫婦で尋ねたことです。大感動です。

先生は、昭和四八年(一九七三)八三歳でそのご生涯を終えられました。先生の御遺徳に対し、多くの顕彰が多方面から寄せられています。

しかし、戦争前、終戦後、あるいは学校統合など、歴史の大きな転換の中で歌詞や曲が変わってしまう事もあり、片隅に追いやられた作品もあったようです。

消えていった「歌詞」も、卒業生が

ら見れば懐かし、忘れがたい記憶です。

できれば校歌の変遷の歴史もしっかりと記録として残していただきたいと思います。時代の流れを、つかみ取り、学び、実感するためにも。

### 校歌(昭和二十五年十月制定)

白鳥省吾作詞  
古閑裕而作曲

一、あゝ東北の 栗原に  
文化を誇る 学び舎の  
わが築高に 風薫り  
平和の朝の 鐘がなる

二、かなたに望む 栗駒に  
永劫なる力 受け継ぎて  
迫の清き せゝらぎに  
天地の律を吾ら聴く

三、荊棘を拓き 青雲を呼び  
心一つに 励みつゝ  
世界の中の 日本の  
先の道を いざ行かん

## これから同窓会について

### 宮城県庁築高同窓会



会長  
小野寺 彰英  
(高三十九回生・志保姫)

同窓会の皆さんこんにちは。宮城県庁築高同窓会会長の小野寺です。今年、母校が共学化20年目を迎えましたこと、心よりお喜び申し上げます。

私は昨年度中にOBを含む役員からの指名により、会長職を拝命いたしました。年長の先輩方もいる中で、若輩者ですが、県庁内同窓生の親睦を図るため精一杯務めさせていただきます。

さて、昨今の県庁同窓会の会長さんからも時折話題が出されておりますが、県庁内の同窓生数は年々減少の一途をたどっております。特に、私世代の前までの先輩方の人数が元々多かったため、その先輩方が退職を次々に迎えるようになると、その現象のスピードが顕著となりました。一方、新規採用職員の中で我が築館高校卒業生は数年に1、2名程度ですので、寂

しいですが今後の同窓会の在り方も考えなければならなくなりました。

とは言え、県の仕事をしている上で、やはり、心情的にどこか頼りになるのが同窓出身者です。我々、年長者も可能な限り、後輩達に信頼され、様々な相談事にも乗ってあげられるよう、日々精進を怠れず、残りの県庁人生を頑張っていきたいと思っております。そのためにも、まずは会員同士の懇親をより深められるような会の運営を心掛けていきたいと考えています。



(三十九回生の卒業アルバムより)

## 築高時代に培われた反骨精神



副会長  
佐藤 一  
(高十九回卒・若柳)

### Song for Children

作詞・作曲 佐藤 一

人はなぜ戦争するのだろう  
平和の名のもと  
人はなぜ憎しみ合うのだろう  
正義の名のもと

触れてごらん 飢えたる子らの頬に  
聴いてごらん 奮えた子らの声を  
見てごらん 見上げる子らの瞳を  
さあ兵士らよ 武器を捨て語らう  
そつと歌おうよ 全つの子らの為に  
Let's sing Let's sing Let's sing  
Let's sing Let's sing Let's sing  
Let's sing a Song for Children

かつて、鳴り止まぬ銃声の下、逃げまどう子供達の姿を見て作った平和を願う歌です。仙台市体育館に、全国から五千人が集まった「日本母親大会」でも歌いました。現在の世界状況はその時が

ら全く変わっていません。むしろロシアのウクライナ侵略戦争やイスラエルのパレスチナ・ガザ攻撃等、悪化しています。そのうち皆さんとご唱和頂く機会があれば幸いです。

わつ、なぜ私がかような歌を作るようになったのか、築高時代を振り返りながら、繋がりを考えてみたいと思います。

私達の高校〜大学時代はベトナム戦争の真っ最中でした。私は生徒会長を務め、会長挨拶や弁論大会で、ベトナム戦争におけるアメリカの非道を批判し、ベトナム人民への連帯を訴え、ほぼ好評を得ました。原稿は詩人でもある菊地勝彦先生の指導を受けました。今でも交流しています。

一方、体操部として鈴木陸男先生監督の下、宮崎インターハイに出場しました。又、音楽の大橋靖彦先生と共に「築高歌集」を製作し、アセンブリで歌いました。英語はベゴさんこと佐々木敏雄先生に鍛えられました。

そして何よりも教頭の二宮善太郎先生(亡父と同級生です)、校長の伊藤英造先生には「歴史とりわけ近現代史と憲法を学べ」と熱く諭されました。

これらが融合して、私の思想・行動

の基礎が形成されたと思います。青春を謳歌しつつ充実した三年間でした。

その後、私はジャーナリストを目指して上京し、ベゴさんの母校である青山学院大学に進学。M・L・キング牧師の「I Have a Dream」、アラン・フランクリンの「We Shall Overcome」に共感して「200米黒人文学」を専攻し、「R・ライト論」や投稿が某通信社の目に留まり「うちに来て、ベトナムに行かないか」と声をかけられました。夢が叶いそうな出会いでしたが、直後に父に急逝されました。

後を継ぐ為に日本鍼灸専門学校に入学、卒業後鍼灸師として帰省・開業し早や40年を超えました。その間「ニューヨークでの「世界鍼灸学会」研究発表「The Effect of Due Medicine of the Acupuncture (鍼灸の太極療法の有効性について)」や各地・各校での講演等、大学で学んだことは大いに役立っています。

ちなみに弟・信一は築高から東北大学に進み、医師になりました。築高を愛し、愛された一人と思います。受験を控えた私がドストエフスキーの『罪と罰』を読んでいる時に、一年生の弟は見たこともない分厚い「数学事典」

を引いていたことが思い出されます。良き友・良きライバルでした。

そして今私は、臨床の傍ら、市井の人間の立場・視点から現代の日本や世界各国の理不尽な状況に対峙して書き、語り、歌い、情報発信しています。その軸となっている反骨精神即ち質実剛健の精神は、築高時代に培われたものと確信しています。

かつての紅顔の美少年(!?)も、早や後期高齢者となりました。現代は益々混沌とし、残念ながら胸を張って誇れる政治状況ではありません。

が、尚のこと若き在校生諸君には大いに社会に関心を抱き、平和な未来を構築する原動力となってくれんことを、築高のみならず日本の教育が、憲法・教育基本法を遵守して進められんことを、同窓生のOB・OGには、互いに自由闊達な発言を通じて、母校ひいては地域社会の発展・活性化に寄与されんことを、切望してやみません。



## 栗駒山と栗原

総務部長

菅原 英州

(高二回卒・花巴)

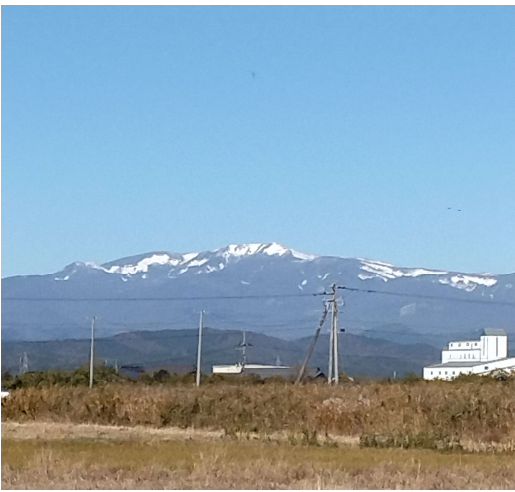
築館高校在学中は、源光にある叔父の家に下宿し、栗駒山の山並みを普通に見ておりましたが、車を運転するようになると、栗駒山の全景を見ることが多くなり、いつも「ああきれいだ」と感動しておりました。しかし、栗原市の西部に位置する標高三百メートルの上原地区から見た栗駒山は、手に取るように近くに見え、壮大な山並みを鑑賞することができ「すごいな」と感心しております。このきれいな山並みは、その昔、伊豆半島の修禪寺上流に狩野城址を構え、鎌倉時代に栗原の地に移住しこの地を統治してきた狩野豪族も目にしておりました。自然豊かな古里、伊豆半島最高峰の景勝地である天城山と、東北の明峰栗駒山をオーバラップしていたと想像できま

す。西山は、標高が同じ位で山並みが



なだらか、幾つかに分かれて自然が豊か  
かで林業が盛ん、山頂からの眺望が良  
いなど、両者とも地域のアイデンティ  
ティ・活性化を図る象徴する存在、と  
いうことで大きな意味を持ちます。伊  
豆沼の名称もあるので、栗原市・伊豆  
市が連携されれば面白いと思います。

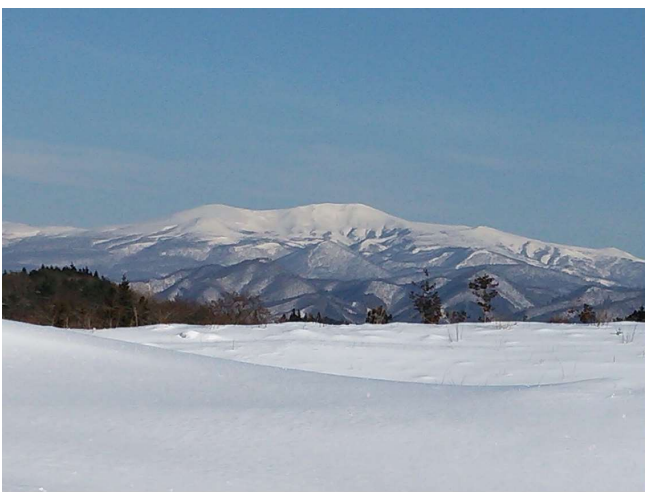
栗駒山一帯は、かつては天然の栗の  
林が広がり、栗原の地域は古くから栗  
の生産が盛んで、「栗の原」と呼ばれて  
いました。栗駒山の存在が、栗原市な  
ど周辺地域の「栗」の呼称に影響を与  
えたと考えられます。このような地域  
の特徴である「栗駒栗」などのブラン  
ド化と火山灰地に育つ樹木の産業振  
興をどのように結びつけるか、今後の  
期待であります。



提供：佐藤隆副会長（高二十五回卒・栗駒）

築高では三年間生物部に所属し、部  
長としても活動しておりました。その  
当時は「栗」とその関連産業には全く  
無関心で、植物の色素、クロロフィル、  
カロテノイド、アントシアニン、フラ  
ボノイドなどに興味がありました。こ  
れらは地域振興の色素でもあります。

果実性樹木として、栗・桃・柿・ブ  
ドウ・リンゴが火山灰系の酸性土壌で  
の栽培に適しているのはよく知られ  
ており、その関連産業の、嗜好性飲み  
物として、ワイン、日本酒、コーヒー  
などがあり、更なる産業興隆の可能性  
が大きく、期待が高まります。 合掌



提供：菅原英州総務部長（高二十回卒・花山）

## 築館高校に勤務して



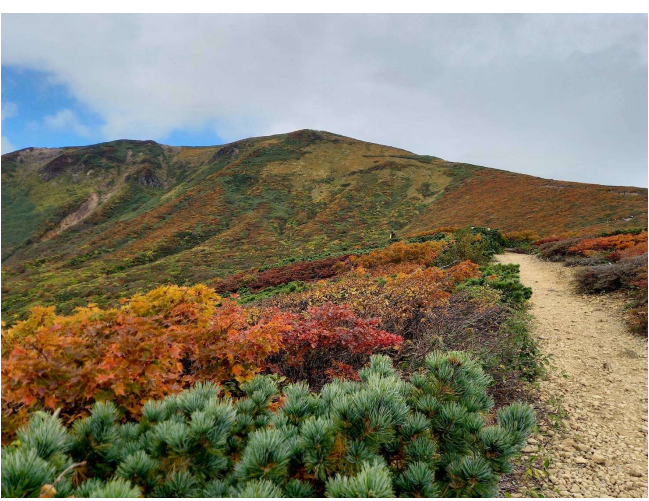
元 事務局長  
齋藤 径子

10年前、築館高校赴任と同時に同  
窓会事務局長を仰せつかりました。会  
員数3万人を超える大きな組織。さら  
に、私自身築館高校の同窓生ではない  
ことや、10周年記念式典を控えてい  
るという大きなプレッシャーの中で  
のスタートでした。そのような中、当  
時の大場会長をはじめ、本部役員の方  
々が温かく迎えてくださり、不安も  
次第になくなっていきました。また、  
仙台支部、県庁会、東京支部と、支部  
総会に参加させていただき、たくさん  
の方と知り合うことができました。

「人とのつながりは財産」とよく言  
いますが、たくさんの方と知り合い、  
学ばせていただいたことは、私にとっ  
て大きな財産となりました。そして、  
どの支部総会でも、同窓生の方の母校  
に対する熱い思いを感じました。芝桜  
プロジェクト、復興応援歌、鶴澤飛羽

の支援に関して多大なご寄付やご声  
援をいただきました。同窓生の皆様が  
常に支えてくださったおかげで、築高  
生が存分に輝くことができていたの  
だと思えます。これからも築高生が活  
躍していけるよう、皆様のご支援を賜  
ると共に、私自身も築高生として同窓  
会のご繁栄をお祈り申し上げます。1  
0年間ありがとうございました。

（齋藤径子先生は今年度より加美農  
業高等学校にてご勤務されています。  
新天地での活躍を祈念しております。  
）

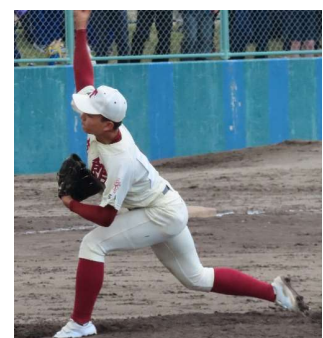


提供：大関友好PTA会長（高四十二回卒・栗駒）

# 2024 紫臈定期戦

## 令和6年度の結果

結果		築高	古高	
野球	●	1	8	○
サッカー	○	0 (PK 4)	0 (PK 3)	●
バスケットボール (男子)	●	51	79	○
バスケットボール (女子)	●	37	50	○
バレーボール (男子)	●	0	2	○
バレーボール (女子)	○	2	0	●
卓球 (男子)	●	1	4	○
卓球 (女子)	○	3	2	●
剣道	●	2	4	○
ソフトテニス (男子)	●	1	4	○
ソフトテニス (女子)	○	3	2	●
バドミントン (男子)	○	3	2	●
バドミントン (女子)	●	2	3	○
綱引き (男子)	●	0	2	○
綱引き (女子)	○	2	1	●
<b>総 合</b>	<b>●</b>	<b>6</b>	<b>9</b>	<b>○</b>



毎年4月末に兄弟校である宮城県古川高等学校との伝統行事である**古高定期戦**は、北部地区総体(5月半ば)・県総体(6月初め)・東北総体(7月)・インターハイ(8月)の前哨戦として行なっている。この行事に向け、新入生は朝昼放課後の応援練習に励み校歌、他数曲の応援歌を覚え築高生の自覚と誇りを身につける。本校入学の登竜門であり、最大イベントでもある。競技種目は15種目で行われ、勝ち越した方が総合優勝となる。競技以外にも両校生徒会長による舌戦や両校応援団による応援合戦なども見物である。ちなみに応援団長は、生徒会役員の中から選ばれ、伝統のあるエールをきる。

### 凱歌を轟かせて

応援団長 鈴木史也

(金成小中 出身)



今回の定期戦はコロナでの制約が一つもなく、コロナ禍前に完全に戻した形で行いました。人数の差や実力の差を感じながらも、結果は6勝9敗と去年より成長した姿を見ることができました。各部活動が全力で戦った結果だと思います。そしてその他の応援生徒も全力で応援してくれました。生徒には感謝しかありません。

今年の定期戦では、コロナ禍前に戻すという目標を掲げて昨年からは準備してきました。しかし私たちはコロナ禍前の活動の様子を見ておらず、準備の段階や古川高校との話し合いの中で疑問点がたくさん湧いてきました。そうした困難の中でも最高の定期戦を作り上げることができました。

最高の定期戦を作り上げ、宿敵である古川高校を倒そうと努力した中で、築高生はまた一つ絆が深まり、築高生が一つになれたと思います。定期戦という素晴らしい行事を途絶えさせないために、来年以降もずっと続いてほしいと思います。実力差がつきすぎると定期戦がなくなってしまうのではというプレッシャーもあるかと思いますが、後輩たちには「絶対に勝つ」という強い気持ちで臨んでほしい。

全国的に見ても、定期戦を行っている学校は少なくなっています。定期戦が築高のアピールポイントであり、築高生の誇りになるような行事であり続けてほしいです。



# 令和6年度総会

# 当番幹事のあの頃



# 我が築高卒のオリンピックアン

同窓会東京支部事務局長

## 多田 貞一 (高三十二回卒・築館)

鵜澤飛羽選手、我が築高から4人目のオリンピック誕生、何とそれも我が陸上部距離種目から初のオリンピック誕生です。1980年当時の部長として、このような素晴らしい日が来るとは思いも寄らなかったので、興奮せずにはいられません。ちなみに私の種目はやり投げでした。

パリ時間で8月5日の夜、オリンピック陸上男子200m予選スタートの号砲がなります。世界の強豪たちとの戦いですね。自分の力を信じて、今を楽しんでください。そして、8月8日の夜、決勝のスタートラインに堂々と立つ、あなたの勇姿を思い描いて、遠く日本から盛大な応援をしています。

願わくは、パリオリンピックでは自己記録20秒23、さらに日本記録20秒03(2003年、末續慎吾選手)の更新を期待しています。

我が築高同窓会一同、パリオリンピックでの鵜澤選手の活躍を期待し、応援しています。さらに、来年9月に東京で開催される世界陸上競技選手権大会への出場と、日本人初の19秒台の実現に挑戦してほしいと願っています。

3人の先人オリンピックと在校生へのコメントです。詳しい記事は、同窓会東京支部インスタグラム(th\_s\_obog)の投稿をご覧ください。

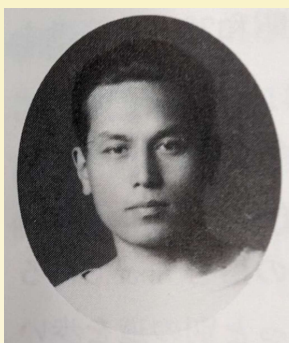


## 菅原 兵衛

(旧制中 十九回卒・富野)

ボートレガッタ

1928年 アムステルダム



## 伊東 総一郎

(定時制 十七回卒・真山)

クレー射撃スキート

1992年 バルセロナ

1996年 アトランタ



在学中は野球部に入り、一迫分校と瀬峰分校の選抜チームで大会に出場。20歳で射撃を始める。

エンジンの「天才とは1%の才能と99%の努力である」という言葉をきっかけに、自分は誰よりも射撃が好きなのだから人より上手くなれるのはと練習に励んだ。

【築高生へ伝えたいこと】

物事何事も継続してやり抜くこと。うまくいかないこと、失敗もたくさんあるでしょう。が自己管理をしっかりして、徹底してやり抜いて下さい。鵜澤君は野球少年だったようですが、あれほどまでに成長出来るのですから、頑張ってください！

## 三橋 亜記

(高 六十回卒・築館)

フィールドホッケー

2012年 ロンドン

2016年 リオデジャネイロ

2021年 東京



共学になった第一回生として入学。

3年時にインターハイで3位、U-18日本代表に選ばれる。山梨学院大学を経てコカ・コーラウエスト株式会社に入社。昨年、選手引退を表明した。

【築高生の皆さんへ】

打ち込むことを見つけた人は、そのことを突き詰めてください。まだ見つかっていない人は、いろんなことに興味を持って若いうちにチャレンジしてください。

夏に帰省したら母校のホッケー部の練習に顔を出したいと思います。よろしくお願ひします。



# 令和5年度卒業 同窓会学年幹事の紹介



三年一組 及川祭(築館中 出身)

みなさん、こんにちは。この度、同窓会幹事をつとめ、及川祭です。同窓会とは、かけがえのない思い出を共有し、長い時間が経っても絆を深める素晴らしい機会です。皆さんと再会できることを心から楽しみにしています。素敵な時間を一緒に過ごせるよう頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

三年一組 佐藤秀太(築館中 出身)

こんにちは。この度、同窓会幹事をつとめます佐藤秀太です。初めてのことなので分からないことが多いですが、私なりに頑張る責任を持って努めていきたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

三年一組 佐藤恒慶(築館中 出身)

クラス幹事として、みなさまを早くへすべに行動できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

三年一組 村上唯(若柳中 出身)

3年2組の同窓会幹事になりました村上唯です。初めてのことなので分からないことも多いと思いますが、精一杯努めますので、よろしくお願い致します。

三年三組 相馬優司(志波姫中 出身)

このたび、同窓会の幹事を務めます相馬優司です。分からないことだらけですが、同窓会に来る同級生がスムーズに來られるよう、自分の役割を全うしたいと思います。

三年三組 佐々木江梨(志波姫中 出身)

この度同窓会幹事を務めます佐々木江梨です。わからないことだらけで不安がいっぱいですが、一生懸命務めますので、よろしくお願い致します。

三年四組 千葉西平(栗駒中 出身)

この度同窓会の幹事を務めます千葉西平です。皆さんの期待に添えるよう頑張ります。積極的な参加をよろしくお願い致します。

三年四組 村山聖奈(栗原西中 出身)

同窓会幹事を務めます村山聖奈です。わからないことだらけで辛い点があると思いますが、精一杯努めますので、よろしくお願い致します。

## 会長としての一年間



生徒会長 千葉 陽輝  
(築館中 出身)

知る良い機会となった。

生徒会長として活動してきて一番印象に残っているのは、やはり定期戦である。今年は築館高校を会場校とし、両校生徒会執行部をはじめ、多くの関係者の皆様の協力によって開催することができた。心より感謝申し上げます。

結果は惜しくも負けてしまい、悔しいものだったが、今年の厳しい応援練習をやりきった一・二年生の皆なら、来年こそ古川高校に勝利することができると信じている。古川高校で凱歌を響かせてほしい。三年生一同心より祈っている。

これから一・二年生の皆の生活は、どんどん変化していくだろう。そのような変化に適応し、仲間と協力しながら「なりたい自分」へと向かってほしい。時には立ち止まってしまっても困難がやってくるだろう。そんな時は人を頼り、より良い答えへと進んでほしい。

最後に、一年間生徒会長として活動してきて、本当に大変なことも多かったが、良い経験ができた。このような経験ができたのも皆のおかげである。本当にありがとう。



編集後記 (鈴木安子広報部員 (高 二十一回卒・築館))

統合20年を前に、会報19号にはオリンピック出場の高橋飛羽さんの特集記事をはじめ、同窓生の皆様の熱い思いや高校時代の味わい深い思い出、築高生の輝かしい活躍を思う存分掲載しました。同窓生の皆様、在校生・教職員の皆様のご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。